

# 2023 年度 事業報告書

2024 年 5 月 28 日

社会福祉法人もえぎの会

## 目 次

I. 総括	… P2
II. 共通	
1. 重点課題	… P2
2. 苦情・相談対応	… P4
3. 防災・安全対策	… P4
4. 研修	… P6
5. 地域・関係機関との連携	… P8
6. 委員会報告	… P12
III. 施設別	
1. 本部	… P15
2. しいの実社	… P19
3. しいの実社 学芸大学スマイルプラザ	… P23
4. 沙羅の家	… P26
5. 短期入所	… P28
6. 地域生活支援拠点(目黒区委託事業)	… P31

## I. 総括

コロナ禍においても、可能な方法により利用者支援を継続し、必要に応じて新たな取り組みをしてきた。日常の活動の改善に加え、世の中の変化に対応するべく長期的視野で、事業運営を安定化させ、事業を継続・発展するために、設備、活動、支援など必要な変更に着手し、成果を積み重ねてきた。この実践は、スタッフの意識、活動の進め方などに向けた知識、経験として蓄積されてきた。

しいの実社においては、新たな利用者を継続して受け入れ、利用者・家族の世代がさらに拡大している。そのために、スタッフ体制の見直し、活動プログラムの見直し、利用者・スタッフの異動などに取り組んできた。

利用者の高齢化・重度化が進み、家族の高齢化と併せて、課題を整理し、検討、実践を進めた。そのために、すべての世代の家族の協力、外部との連携を進めてきた。

沙羅の家の運営が独立して、安定運営に向けた取り組みを進めているが、スタッフ退職、入職が繰り返され、日常の支援に忙殺されている。その間に、利用者・家族の高齢化が進み、夜勤体制、週末稼働体制を拡大した。それにより、増加する短期入所の緊急受入れに対応するとともに、地域生活支援拠点事業のさらなる充実を図る必要性が増加している。業務改善とスタッフ体制の安定は十分な成果とならず、継続する課題となっている。

## II. 共通

### 1. 重点課題

#### 1. 事業を継続するための実践の促進

事業を継続するために、法人内部への変化や外部の変化に対応する必要がある。利用者・家族の高齢化・重度化への対応、設備・備品の老朽化への対応など順次対応、実行している。2023年度は、年度内に災害など緊急事態に対応するための事業継続計画(BCP)を策定するために、しいの実社、沙羅の家でチーフ、担当者が中心となり、BCPを策定した。BCPは完成というものではなく、可能な限り実践に向けて継続して改善を重ねるために、今後、引き続き安全衛生委員会で管理しながら改善を続けていく。

#### 2. 法人本部と事務局の確立

1 法人 1 施設から事業を開始したため、事業の拡大に伴い事務局と施設の役割分担に課題が出てきている。2023年度は、配送業務と店舗運営を事務局からしいの実社に移管し、事務局は法人本部としての位置づけを担えるように取り組むということを掲げ、年度当初から役割を分けて運営を開始した。大きな混乱はなく、事務局は法人全体の総務事務機能と法人本部機能に業務を絞り、人員もこれまで配送や店舗運営を含め7名で行っていたところ、2名体制で運営した。しいの実社の施設事務もしいの実社で行うこととしたことで、次の課題として沙羅の家の施設事務の移管に取り組む。引き続き業務を整理し、事務局機能の充実も図っていく。

### 3. 高齢化による利用者・ご家族の変化への対応

高齢プロジェクトメンバーを選任し、会議を8回開催した。その中で、ケーススタディや情報共有をし、課題を共有しながら対策への足掛かりとした。基本的な知識の習得のため、高齢施設の見学、職員へむけて権利擁護センターによる成年後見の研修、包括支援センターよるフレイル(介護予防)研修を実施した。

### 4. しいの実社と沙羅の家の連携強化

職員間の連携強化を図るために、しいの実社、沙羅の家で交流の機会を設けるための調整を行ったが、勤務時間が合わないことやスタッフ体制が整わないことから十分な実施にはつながらなかった。しかしながら、しいの実社の宿泊研修旅行やしいの実祭に沙羅の家の職員が参加し、普段とは違う利用者の様子を見ることができ、職員間の交流も図られた。

また、管理職においては、お互いの施設の運営会議に参加し、情報共有を図ることができた。

### 5. 福祉専門職としての支援力強化

2022年度に引き続き、法人内部研修を常勤職員を対象に5回、外部講師を招いた虐待防止研修と研修委員会で出た意見をもとに組み立てた理事による研修を非常勤職員を含めた全職員対象に各1回実施した。報酬加算の対象となる法定研修などの外部研修にも参加し、支援力の向上に努めた。

また、2023年度は、研修委員会を立ち上げ、各施設より担当職員を選出し、次年度の委員会活動へ向けた話し合いを持った。2024年度は、前年度のメンバーを引き続き担当委員とし、法人全体研修の企画や職員の研修受講状況の管理なども一体的に行うようにしていくことで、引き続き支援力の向上に努めていく。

## 2. 苦情・相談対応

### (1) 苦情・相談対応 苦情内容

	施設	苦情内容	対応内容
9月	しいの実社	グループホームへの送迎時に職員が付き添っていたが、利用者が散歩中の犬に近づき頭を撫で、飼い主から強い口調で職員に暴言交じりの叱責があった。	飼い主から、しいの実社に入電があった。施設長が話を伺い、改めて指導する旨を伝え謝罪する。気を付けてもらいたいということで話を終えている。
10月	沙羅の家	目黒区障害施策推進課より連絡があり、匿名で沙羅の家の近隣に住む方から、1～2年前から夜間に職員と思わしき人が建物外で話す声がしてうるさい。 また、外で吸っている煙草の煙が通報者宅へ入ってくるので窓を開けられず困っている、区の方から伝えてほしいとの苦情が入る。	匿名の方のため、該当するユニットの絞り込みはできなかったが、全ユニットでも発生する可能性があるため、各ユニットのチーフに以下のことを指示した。 ①原則 22 時以降は沙羅の家の建物外での私語は慎むこと。退勤後、複数のスタッフで帰る際も、沙羅の家の周りでの私語は厳禁。 ②喫煙に関しては、建物内は禁煙のため、建物外で吸う事はこれまで通りであるが、喫煙場所を複数設置して、特定の 1 か所だけに煙が行かないように工夫する。

## 3. 防災・安全対策

### (1) 事故

施設	転倒・転落	怪我	服薬	誤飲・誤嚥	自傷・他害	器物破損	その他	計
しいの実社	1	1	0	0	12	0	8	22
学大スマイル	0	0	0	0	8	0	4	12
沙羅の家	3	0	4	0	8	1	6	22
短期入所	0	0	0	0	0	0	0	0
支援拠点	0	0	0	0	0	0	1	1
計	4	1	4	0	28	1	19	57

## (2) ひやりはっと

施設	転倒・転落	怪我	服薬	誤飲・誤嚥	自傷・他害	器物破損	その他	計
しいの実社	3	1	0	0	26	3	7	40
学大スマイル	0	1	0	0	7	2	3	13
沙羅の家	1	0	5	0	0	0	6	12
短期入所	0	0	0	0	0	0	0	0
支援拠点	0	0	0	0	0	0	1	1
計	4	2	5	0	33	5	17	66

## (3) 【販売に関するもの】

	異物混入	表示	品質	賞味期限	金銭	その他	計
苦情	0	0	0	0	0	0	0
事故	1	0	0	0	1	0	2
ひやり	0	0	0	0	0	0	0
計	1	0	0	0	1	0	2

## (4) 防災訓練

施設名	実施日	内 容
しいの実社	8月18日	避難訓練
スマイルプラザ	8月22日	全館避難訓練
沙羅の家 (全ユニット)	11月23日	避難訓練(緊急時集合場所の確認、停電体験)
沙羅の家 (全ユニット)	3月11日	四中跡地3施設合同訓練(職員のみ)
スマイルプラザ	3月22日	全館避難訓練
しいの実社	3月14日	避難訓練((1次避難場所への移動含む)

#### 4. 研修

##### (1) 外部研修 \*はオンライン

実施日	施設名	研修名	実施主体	参加人数
5/9	学大スマイル	メンタルヘルス セルフケア	東京都*	1人
6/1・2・5	学大スマイル	就業支援基礎研修	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構	1人
6/15	しいの実社	はじめて社会福祉を学ぶ	東京都社会福祉協議会*	1人
6/27・28 10/17・ 18・11/6	しいの実社・事務局・学大スマイル	メンタルヘルスラインケア	東京都*	2人
7/11	しいの実社	スタートアップ研修	東京都社会福祉協議会*	1人
7/15	事務局	労働基準法等に関する研修	東京都社会福祉協議会*	1人
7/18・20	しいの実社・事務局	職場内研修担当者になった時に必要な基礎知識	東京都社会福祉協議会*	2人
7/19	しいの実社	自閉症の方々とかかわるための基本	東京都障害者通所活動施設職員研修会	1人
8/2・3、 9/27・28 10/2・20、 11/1	しいの実社・沙羅の家・事務局	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	東京都福祉保健財団	7人
8/4	しいの実社	3年目職員研修	東京都社会福祉協議会	1人
8/23	しいの実社	障害者虐待防止の体制整備に関する研修	東京都	1人
8/31	沙羅の家	虐待防止研修	目黒区基幹相談支援センター	3人
9/11	しいの実社・沙羅の家	虐待防止・権利擁護研修	東京都	3人
9/12	学大スマイル	新任職員の定着・育成入門研修	東京都社会福祉協議会	1人
9/12	沙羅の家	相談支援従事者基礎研修	東京都心身障害者センター	1人
9/30	沙羅の家・しいの実社・事務局	都通研30周年記念特別研修会	東京都障害者通所活動施設研修会	3人

11/30	沙羅の家	介護職員等によるたん吸引等の実施のための研修	東京都福祉保健財団	5人
12/19	沙羅の家	障害者グループホーム従事者基礎研修	東京都*	2人
1/15	学大スマイル	利用者支援の中での支援者のメンタルヘルス	東京都社会福祉協議会	2人
1/26	事務局	給付費請求の基礎知識	東京都社会福祉協議会	1人
2/3	しいの実社	意思形成支援とは何か	東京都社会福祉協議会	1人
2/22	沙羅の家	高次機能障害のある方が自分らしく働くために	目黒区障害者就労支援センター	2人
2/26	しいの実社・事務局・沙羅の家	防災講演会	目黒区障害者団体懇話会	3人
3/5	しいの実社・沙羅の家	虐待防止・身体拘束適正化の為に体制整備に関する基本的知識・基準等について	目黒区	2人
3/6	事務局	目黒区の保健医療福祉計画について他	目黒区社会福祉法人連絡会	1人
3/16	しいの実社	知的障害者の認知症診断基準	国立のぞみの園*	1人

(2) 内部研修

実施日	施設名	研修内容	対象者	講師
7/25、 8/1、9/1、 12/1、 2/13	しいの実社・ 沙羅の家	創設のおもい、もえぎの会の支援についてなど	新入職員(4年目まで含む)	小平施設長
7/4	法人全体	人事考課制度の考え方	管理職員	理事 和田清氏
6/21・22・ 23	法人全体	社会福祉法人職員に求められる職業倫理について	正規職員	目黒障害者就労支援センター 事務局長 白鳥千恵子氏
7/13.19・ 28		知的障害・自閉症スペクトラムについて。利用者さんの困りごとの背景にある生きづらさ、知的障害について知る。	正規職員	小平施設長

8/2・10 9/28		組織人としての基本的意識 と行動基準	正規職員	目黒障害者就労支援 センター 事務局長 白鳥千恵子氏
12/20・22		支援について	正規職員	長谷施設長
1/18・24・ 25		障害の理解	正規職員	小平施設長
11/7	法人全体	チームワークとリーダーシップ	管理職員	目黒障害者就労支援 センター 事務局長 白鳥千恵子氏
2/2	法人全体 (ZOOM)	利用者の尊厳と人権を考え る～尊厳の保持が支援の原 点～	全職員	元三菱ケミカル(株) 人権室長 (東京都登録講師) 小原 俊治氏
3/28	法人全体 (ZOOM 含む)	人が人を支える～人生を支 える支援～	全職員	理事 和田清氏

## 5.地域・関係機関との連携

### (1) 実習・体験・見学

#### 見学

受入施設名	実習・見学等依頼先	人数
しいの実社・学大スマイル	利用希望 ・進路先として(青鳥特別支 援学校・田園調布特別支援学校保護 者・生徒大田区健康福祉課他)・港特別 支援学校(23 人)	44 人
しいの実社	民生委員 (地域施設を理解する 20 人)・不動小学校(町探検)	25 人
しいの実社	施設立ち上げ準備のための見学	4 人
しいの実社	フードロスの有効活用	2 人
地域生活支援拠点	自立支援協議会相談支援部会	5 人
しいの実社・沙羅の家	基幹相談支援	2 人
しいの実社	製品購入のための見学	1 人

相談

受入施設名	目的・相手先	人数
しいの実社・学大スマイル	商品を扱いたいなど 学大近隣店舗等	9人
しいの実社	フードロス・子ども食堂関連 NPO 他	4人
しいの実社	新規(再開含む)販売依頼等	4人
しいの実社	利用・実習希望 青鳥特別支援学校・田園調布特別支援学校・大田区他	12人
しいの実社	寄付の意向確認 (アステラス製薬・すくすくのびのび園)	2人

実習

受入施設名	目的・相手先	人数
学芸大学スマイルプラザ	就労アセスメント (田園調布特別支援学校・青鳥特別支援学校)	3人
しいの実社	保育実習 (東洋英和女学院大学)	2人
しいの実社	現場実習 (田園調布特別支援学校・青鳥特別支援学校)	2人
しいの実社・学芸大学スマイルプラザ	就業体験 (田園調布特別支援学校・中央中学校)	2人

その他

受入施設名	目的・相手先	人数
しいの実社	KURUMIRUのPR(東京動画) 東京都	
学芸大学スマイルプラザ	卒業生のお話を聞く会の講師依頼 田園調布特別支援学校	1名

(2) 相談支援事業所利用実績

事業所名	たんぽぽ	あいアイ館	リタリコ	センター	目黒相談支援	架け橋	ケアプラン	その他	他区	なし	合計
人数	29	14	9	8	0	3*	1	2	2	67*	

\*1名はその他とケアプランを重複しているため

### (3) 広報紙「萌木」の発行

- ① 対象者 行政、議会、学校、関係機関、利用者、家族、ボランティア、後援会会員等
- ② 発行時期 4月、10月
- ③ 発行部数 750部
- ④ 内容 【4月号】
  - 巻頭文：田園調布特別支援学校校長 中村由美子氏
  - 2023年度事業計画・理事長 区政功労賞受賞
  - 第21回 ウィズコロナのリモートしいの実祭報告
  - しいの実社卒業生の自立生活者表彰について
  - 後援会会員インタビュー  
ヤマ・クリニック、葛西のかなめクリニック、西郷歯科クリニック
  - 沙羅の家 生活状況、6ユニット合同イベント報告【10月号】
  - 巻頭文：目黒区健康福祉部 部長 橋本隆志氏
  - しいの実社研修宿泊旅行報告
  - 事業報告会コンサート、学大店状況報告
  - 後援会会員インタビュー  
リファーステムジャパン(株)、(株)キョーワハーツ、こぶしえん
  - 沙羅の家 生活状況、秋の例大祭報告

### (4) 通信「しいの実通信」の発行

- ① 対象者 利用者、家族
- ② 発行時期 5月、10月、1月
- ③ 発行部数 70部
- ④ 内容 5月
  - 施設長挨拶
  - 支援課長挨拶
  - 新入社員紹介
  - 新入職員紹介
  - スタッフ通信10月
  - 利用者研修宿泊旅行報告
  - 新入職員紹介
  - 事業報告会演奏会(MGK様)報告

1月

- 巻頭文:理事長・施設長
- リモートしいの実祭報告
- 成人を迎える利用者さんの紹介
- 学大ショップ2階の作業風景

(5) 後援会だよりの発行(発行 後援会)

- ① 対象者 後援会員
- ② 発行時期 4月、10月
- ③ 発行部数 600部
- ④ 内容 【4月号】
  - 巻頭:会長挨拶
  - HappyJapanProject様 寄付報告
  - 第21回 しいの実祭報告  
~ウイズコロナのリモートしいの実祭~
  - 後援会支援報告【10月号】
  - 巻頭:会長挨拶
  - 事業報告会報告
  - イベント販売再開
  - 後援会2022年度収支決算報告/2023年度収支予算

(6) 事業報告会

事業報告会

実施月日	7月8日(土)
実施場所	こぶしえん
参加者	72名(会員43名、招待者3名、ご家族10名、利用者5名、職員11名)

しいの実社カタログ販売

実施月日	6月7日~8月10日
送付先	後援会員および法人関係者
実績金額	263,900円(別途寄付95,800円)

利用者向け企画として MGK(ムジークガルテン・クロキ)の協力により、コンサート実施

実施月日	7月15日(土)
実施場所	目黒本町社会教育館
参加者	利用者37人・スタッフ9人

## 6. 委員会報告

### (1) 安全衛生委員会

法人として職場環境、利用者・職員の安全衛生について実施要綱に基づき運営した。

月日	主な内容	出席人数
5/10	2023年度体制について、感染症について(マスク着用ルール)、フォーマット管理、メンタルヘルス研修について、BCPについて	8人(うち委員5名)
6/13	感染症について(コロナ5類移行)、BCP今年度の進め方について	10人(うち委員8名)
7/11	メンタルヘルス研修受講報告、BCP進捗状況(各施設担当を割り振ることとした)	10人(うち委員8名)
8/8	感染症について(しいの実社社員旅行は予定通り実施)、BCP進捗確認	11人(うち委員8名)
10/10	新型コロナウイルス発生状況、メンタルヘルス研修について、BCP進捗状況報告	9人(うち委員7名)
11/14	感染症発生状況報告、メンタルヘルス研修報告、BCPの進捗状況	9人(うち委員6名)
12/12	感染症発生状況報告、ラインケア研修受講報告、ヒヤリハット分析について	8人(うち委員7名)
1/9	感染症発生状況報告、BCP進捗状況報告	8人(うち委員5名)
2/13	感染症発生状況報告、メンタルヘルスについて、ヒヤリハット分析について	8人(うち委員5名)
3/12	BCP(完成)の今後のブラッシュアップについて、防災セミナー参加報告、ヒヤリハットについて	9人(うち委員6名)

## (2) 虐待防止委員会

虐待を防止し、虐待の発生しない職場を維持するため。可能な限り身体拘束しない施設運営を維持し、やむなく実施する必要がある場合は、適正に処理するように運営した。

月日	主な内容	出席人数
5/9	2023 年度体制確認、年間予定、研修、事務局について 身体拘束適正化委員会:ベッドの4点柵について	8 人(うち委員 5 名)
6/13	倫理綱領、通報フローチャート確認(各施設運営員会で周知)、チェックリスト	10 人(うち委員 8 名)
7/11	虐待防止研修について、今後の議題の確認	10 人(うち委員 8 名)
8/8	虐待通報受付・経過報告について、虐待防止の手引き改定について、基幹相談支援センター研修会案内	10 人(うち委員 8 名)
9/12	8 月取り扱い事案の経過記録、虐待防止研修について	10 人(うち委員 8 名)
10/10	虐待防止研修について	9 人(うち委員 7 名)
11/15	チェックリスト、不適切ケアについて、研修について(日程等決定内容確認)	9 人(うち委員 6 名)
12/12	チェックリスト集計結果報告・講評、虐待防止研修進捗報告	7 人(うち委員 5 名)
1/22	チェックリスト集計結果講評、虐待防止研修の流れ最終確認	9 人(うち委員 6 名)
2/21	ケース報告、研修実施報告	9 人(うち委員 6 名)
3/21	不適切ケアのチェックリスト集計結果確認、「障害サービス等事業所における虐待防止及び身体拘束適正化体制研修」受講報告と、報告を受けての討議	9 人(うち委員 7 名)

### (3) 身体拘束適正化委員会

月日	主な内容	出席人数
5/9	ベッドの4点柵について	8人(うち委員5名)
6/13	身体拘束・検討事項なし	10人(うち委員8名)
7/11	身体拘束・検討事項なし	10人(うち委員8名)
8/8	身体拘束・検討事項なし	10人(うち委員8名)
9/12	身体拘束の適正化について(確認)	10人(うち委員8名)
10/10	身体拘束・検討事項なし	9人(うち委員7名)
11/15	四点柵解除の報告	9人(うち委員6名)
12/12	身体拘束・検討事項なし	7人(うち委員5名)
1/22	身体拘束・検討事項なし	9人(うち委員6名)
2/21	身体拘束・検討事項なし	9人(うち委員6名)
3/21	2024年度の委員会体制について	9人(うち委員7名)

### (4) 研修委員会

2023年度から立ち上げた。具体的に研修計画立案、実施するために運営する。

月日	主な内容	出席人数
2/27	研修委員会要綱について、基本方針の確認、委員会の進め方について、もえぎの会の職員に必要なこと(1人ずつ意見を出し合う) 今年度は、本委員会の意見を参考に法人研修を開催した。	9人

### III. 施設別

#### 1. 本部

法人総務を司り、各施設と連携をとりながら運営を進めた。重点課題である本部機能の強化を目指し、しいの実社の施設事務の移管を進めている。

##### (1) スタッフの異動

	本部					しいの実社				
	4/1	退職	異動	採用	現員	4/1	退職	異動	採用	現員
正 規	2	0	-1	0	1	12	2	3	1	14
契 約	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パ ー ト	5	0	-3	0	2	6	0	2	1	9
計	7	0	-4	0	3	18	2	5	2	23

	しいの実社学芸大学スマイルプラザ					沙羅の家				
	4/1	退職	異動	採用	現員	4/1	退職	異動	採用	現員
正 規	5	0	0	0	5	21	5	-1	8	23
契 約	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
パ ー ト	10	0	0	0	10	10	1	0	0	9
計	15	0	0	0	15	31	6	-1	8	32

	合 計				
	4/1	退職	異動	採用	現員
正 規	40	7	1	9	43
契 約	0	0	0	0	0
パ ー ト	31	1	-1	1	30
計	71	8	0	10	73

## (2) 会議運営

### ① 理事会

開催日	主な内容	出席人数
5/30	2022 年度事業報告、2022 年度決算、しいの実社学芸大学店舗賃貸契約更新について、役員候補者案について、評議員会開催	理事 6 人 監事 2 人
6/20	理事長の互選(決議の省略)	理事 7 人 監事 2 人
10/31	2023 年度上半期事業報告、2023 年度補正予算、2023 年度民間社会福祉施設設備改善整備費補助金事業について、育児休業および育児短時間勤務に関する規程の改定、評議員会開催	理事 7 人 監事 2 人
3/5	2024 年度事業計画、予算案、積立金管理、ランチ業者選定、基本財産の担保提供、定款変更、評議員会開催	理事 5 人 監事 1 人

### ② 評議員会

開催日	主な内容	出席人数
6/20	2022 年度事業報告、2022 年度決算、役員を選任	評議員 7 人 監事 2 人
11/21	2023 年度上半期事業報告、補正予算	評議員 6 人 監事 1 人
3/26	2024 年度事業計画、予算案、基本財産の担保提供、定款変更	評議員 6 人 監事 1 人

### ③ 評議員選任解任委員会

2023 年度開催なし

### ④ 後援会(役員会)

開催日	主な内容	出席人数
6/6	もえぎの会 2022 年度事業報告・決算報告(案)、後援会 2022 年度事業計画・予算、事業報告会・総会の開催方法	役員 3 人 運営委員 6 人
9/5	会員募集状況、カタログ販売・事業報告会・演奏会の報告、広報、しいの実祭検討	役員 5 人 運営委員 6 人
12/5	会員募集状況、リモートしいの実祭報告・振り返り	役員 3 人 運営委員 7 人
3/5	2024 年度もえぎの会事業計画案、後援会総会開催方法について	役員 1 人 運営委員 6 人

⑤ 後援会(運営委員会)

開催日	主な内容	出席人数
4/4	事業報告会・総会について、会員目標について	運営委員 10 人
5/9	会員募集状況等確認、総会の開催方法検討	運営委員 7 人
6/6	総会の流れの確認・検討	運営委員 9 人
7/4	会員募集状況等、総会・事業報告会流れの最終確認	運営委員 6 人
8/1	会員募集状況、カタログ販売・事業報告会振り返り、しいの実祭りについて	運営委員 4 人
9/5	会員募集状況、広報発送、しいの実祭について	運営委員 6 人
10/3	会員募集状況等確認、しいの実祭での豚汁販売等について	運営委員 9 人
11/7	会員募集状況、しいの実祭、家族会協力者の増員検討について	運営委員 9 人
12/10	しいの実祭振り返り	運営委員 7 人
1/9	会員募集状況、カタログ・年賀状・土曜開所報告について	運営委員 4 人
2/6	会員募集状況、広報について、家族会の運営に関する意見交換	運営委員 4 人
3/5	会員募集状況等確認、事業報告会開催検討、広報発送作業、販売促進について	運営委員 6 人

⑥ 幹部会

開催月	主な内容
4/11	理事会準備スケジュール確認、重点課題について、経営会議について
5/9	理事会について、決算報告、各部門より、2023 年度研修計画について
6/13	評議員会について、事業報告会について、重点課題・各部門からの報告
7/11	事業報告会振り返り、有給消化状況、60 時間を超える時間外労働の割り増しについて
8/8	人材募集について、利用者ケース報告、各部門より
9/12	上半期事業報告、育児・介護休業法改正について
10/10	理事会準備スケジュール確認、しいの実祭り進捗、理事長より
11/14	評議員会について、理事長より(自立支援協議会)、しいの実祭について、各部門よりについて
12/12	しいの実祭報告、沙羅の家大岡山感染症状況、サーバー管理について、各部門より
1/9	理事会について、各部門より、サーバー管理について

2/13	理事会について、2024 年度重点課題について、もえぎの会 IT の方向性について
3/12	2024 年度重点課題取り組み計画、IT の方向性、処遇改善について、理事長より

### (3) 家族会

もえぎの会家族会としてしいの実社と沙羅の家の家族会を統合し、開催した。

	月日	出席人数	主な内容
第1回	4/10(月)	33 人	年間予定、スタッフ体制、法人運営、各施設運営状況の報告等
第2回	7/3(月)	20 人	スタッフ体制、法人運営、各施設運営状況の報告等
第3回	10/2(月)	33 人	スタッフ体制、法人運営、研修報告、各施設運営状況の報告等
第4回	1/22(月)	26 人	スタッフ体制、法人運営、各施設運営状況の報告等
第5回	3/4(月)	27 人	利用者状況、スタッフ体制、法人運営、各施設運営状況の報告等、今後の予定について

## 2. しいの実社

新型コロナウイルス感染症が 5 類となり、しいの実祭や旅行などの行事も例年通りの開催に戻っている。経験年数の長いスタッフが増えており、運営は安定してきている。利用希望・製品取引の問合せも増えている。

### (1) 利用者状況(障害別・性別・年代別)

種別等		生活介護	就労継続 B	計
性別	男	19 人	7 人	26 人
	女	6 人	5 人	11 人
	計	25 人	12 人	37 人
年代別	10 代	1 人	2 人	3 人
	20 代	0 人	0 人	0 人
	30 代	7 人	3 人	10 人
	40 代	4 人	3 人	7 人
	50 代	13 人	3 人	16 人
	60 代	0 人	1 人	1 人
	70 以上	0 人	0 人	0 人
	計	25 人	12 人	37 人
愛の手帳	2 度	14 人	4 人	18 人
	3 度	10 人	5 人	15 人
	4 度	1 人	3 人	4 人
	計	25 人	12 人	37 人
障害支援区分	未判定	0 人	2 人	0 人
	区分 1	0 人	0 人	0 人
	区分 2	0 人	0 人	0 人
	区分 3	1 人	4 人	5 人
	区分 4	10 人	3 人	13 人
	区分 5	11 人	2 人	13 人
	区分 6	3 人	1 人	4 人
	計	25 人	12 人	37 人

## (2) 利用状況

				2023 年度	2022 年度	2021 年度
生活介護	開所日数	土曜開所	有	253	253	251
			無	242	242	241
	延べ利用人数	土曜開所	有	6107	5900	5877
			無	5937	5732	5732
	平均利用人数/日	土曜開所	有	24.1 人/日	23.3 人/日	23.4 人/日
			無	24.5 人/日	23.7 人/日	23.8 人/日
	出社率	土曜開所	有	96.6%	97.2%	97.6%
			無	98.1%	98.7%	99.1%
就労継続B	開所日数	土曜開所	有	253	253	251
			無	242	242	241
	延べ利用人数	土曜開所	有	2310	2219	2167
			無	2248	2162	2108
	平均利用人数/日	土曜開所	有	9.1 人/日	8.8 人/日	8.6 人/日
			無	9.3 人/日	8.9 人/日	8.7 人/日
	出社率	土曜開所	有	91.3%	94.3%	95.9%
			無	92.9%	96.1%	97.2%

\* 出社率の母数は実人員

## (3) 利用者工賃

単位:円

		給料 (賞与含む)	1人当たり	
			年額	月額
2023 年度	生活介護	6,783,560	308,343	25,695
	就労継続B	2,617,810	261,781	26,178
2022 年度	生活介護	6,352,200	264,675	22,056
	就労継続B	2,092,950	251,840	20,987
2021 年度	生活介護	6,571,870	273,827	22,818
	就労継続B	2,324,780	258,308	21,525

## (4) 販売

単位：円

年 度		店 舗			施設外販売		計
		しいの実社	学芸大学	さんまるしえ	イベント	区役所	
2 0 2 3	営業日	238 日	238 日	295 日	17 日	24 日	812 日
	売上額	5,720,110	14,918,270	3,649,920	2,519,320	1,003,890	27,811,510
	平均日額	24,034	62,681	12,372	148,195	41,828	34,250
2 0 2 2	営業日	241 日	240 日	297 日	9 日	23 日	808 日
	売上額	5,687,714	13,387,420	3,154,630	1,469,330	882,670	24,581,764
	平均日額	23,600	55,781	10,621	163,258	38,377	30,423
2 0 2 1	営業日	235 日	235 日	298 日	2 日	19 日	789 日
	売上額	5,337,501	14,006,630	2,915,310	1,425,100	648,080	24,332,621
	平均日額	22,712	59,602	9,782	712,550	34,109	30,839

## (5) 土曜日開所プログラム

実施日	主な内容	参加人数
4/15	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 28 人、スタッフ 6 人
5/20	映画鑑賞・昼食会(外食)	社員 33 人、スタッフ 7 人
6/17	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 33 人、スタッフ 6 人
7/15	昼食会(弁当)・社協館音楽鑑賞	社員 37 人、スタッフ 9 人
8/19	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 31 人、スタッフ 6 人、実習生 1 名
9/17	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 28 人、スタッフ 6 人
10/21	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 33 人、スタッフ 6 人
12/16	音楽鑑賞・昼食(モスバーガー寄付)	社員 37 人、スタッフ 6 人、ボランティア他 5 名
1/20	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 30 人、スタッフ 6 人
2/17	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 31 人、スタッフ 6 人
3/18	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 29 人、スタッフ 6 人

(6) 年間行事

• 宿泊研修旅行

実施月日	9月7日(金)～8日(金) 1泊2日
実施場所	茨城県・五浦温泉 新型コロナ感染拡大後、4年ぶりの1泊旅行実施。ホテルは貸し切り、バス内では観光中はマスク着用での実施としたが、体調不良もせず、久しぶりの旅行を楽しんだ。
参加者	社員52人・スタッフ28人

• しいの実祭

実施月日	11月25日(土)
実施内容	4年ぶりに館内での販売や飲食を再開した。清水町会・後援会・天ぷら割烹かわさきなど多くの方のご協力を得て、区長をはじめ多くの方にご来場いただき、来場者は約2000人となった。
参加者	社員54人・スタッフ39人・ボランティア35人 合計参加者128人

(7) スタッフ会議

① 運営会議

	主な内容
4/20	理事長より(家族会運営会議について)、施設長より、2022年度の重点課題と2023年度事業計画について
6/27	施設長より、2023年度事業計画について 事務局より、事業報告会について 虐待防止委員会、安全衛生委員会について
8/16	権利擁護センターによる成年後見制度についての講義 重点課題について 虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会について
10/18	施設長より重点課題について 非目性盲目についての動画視聴 自立支援費の内訳について 事務局より年間休日、介護休業法の案内
12/19	和田理事より自閉症と利用者の高齢化について 事務局より後援会役員会の報告 安全衛生委員会よりひやりはっと事故報告
2/20	東京動画についてのお知らせ 支援についての動画視聴 家族会報告について 2024年度社員受け入れ
3/29	全職員対象法人全体研修 和田理事による「人が人を支える～人生を支える支援」 理事長より2024年度事業計画「今年は世代の変化に対応」について 新スタッフ紹介 体制、係担当について

② チーフ会議

	主な内容
5/17	施設長より2023年度重点課題、事業継続するための実践の促進、定員在籍について
7/18	重点課題の確認と定員在籍、スタッフ体制について
9/19	重点課題について 事務局よりインボイス対応について 学大の在籍確認、各係、部門からのお知らせ
11/16	重点課題について しいの実祭について 安全衛生委員会について
1/16	重点課題について 各係、部門より 利用者定員と受入れについて
3/19	2023年度事業報告 2024年度についての確認

3. しいの実社学芸大学スマイルプラザ

本年度も実習希望者3名を受け入れた。利用者も増加しており、スマイルプラザ内の作業室が狭くなってきたため、学芸大学の作業室を有効利用し、店舗や2階作業室での受け入れを増やした。

(1) 利用者状況(障害別・性別・年代別)

種別等		就労継続B	就労移行	計
性別	男	13人	2人	15人
	女	7人	1人	8人
	計	20人	3人	23人
年代別	10代	0人	1人	1人
	20代	5人	1人	6人
	30代	6人	1人	7人
	40代	2人	0人	2人
	50代	3人	0人	3人
	60代	0人	0人	0人
	70以上	4人	0人	4人
	計	20人	3人	23人
愛の手帳	2度	6人	0人	6人
	3度	10人	1人	11人
	4度	4人	2人	6人
	計	20人	3人	23人

障害支援区分	未判定	0人	0人	0人
	区分1	0人	0人	0人
	区分2	1人	1人	2人
	区分3	8人	1人	9人
	区分4	9人	1人	10人
	区分5	1人	0人	1人
	区分6	1人	0人	1人
	計	20人	3人	23人

(2) 利用状況

				2023年度	2022年度	2021年度
就労移行	開所日数	土曜開所	有	253	253	251
			無	242	243	241
	延べ利用人数	土曜開所	有	908	722	457
			無	888	713	453
	平均利用人数/日	土曜開所	有	3.6人/日	2.9人/日	1.8人/日
			無	3.7人/日	2.9人/日	1.9人/日
	出社率	土曜開所	有	89.7%	95.1%	84.3%
			無	91.7%	97.8%	87.0%
就労継続B	開所日数	土曜開所	有	253	253	251
			無	242	243	241
	延べ利用人数	土曜開所	有	4134	4476	4807
			無	4042	4557	4721
	平均利用人数/日	土曜開所	有	16.3人/日	17.6人/日	19.1人/日
			無	16.6人/日	18.7人/日	19.6人/日
	出社率	土曜開所	有	81.7%	88.0%	95.7%
			無	83.5%	93.5%	97.9%

\* 出社率の母数は実人員

(3) 利用者工賃

	事業名	総支給額 (賞与含む)	1人当たり	
			年額	月額
2023年度	就労移行	926,440	308,813	25,734
	就労継続B	439,745	314,103	26,175
2022年度	就労移行	721,378	228,284	19,024
	就労継続B	4,907,700	244,197	20,350
2021年度	就労移行	411,750	190,625	15,885
	就労継続B	5,000,600	250,030	20,835

(4) 販売

※しいの実社に記載

(5) 土曜日開所プログラム

※しいの実社と同様

(6) 年間行事

- ① 宿泊研修旅行
  - ② 日帰り研修旅行
- ※しいの実社と同様

(7) スタッフ会議

- ① 運営会議
- ※しいの実社と同様
- 
- ② チーフ会議
- ※しいの実社と同様

#### 4. 沙羅の家

2023年度は、沙羅の家清水Cの利用者が高齢化により日常的に医療が必要な状態となったためにご家族の意向で8月に退寮した(2024年4月に新入居者を受け入れている)。高齢化の課題(ご本人の状態の変化だけではなく、ご家族からの支援の低下、相続などの諸問題等)は、今後も最重要な課題として、設備の改修など今後に備えた準備をおこなう必要がある。

職員体制については、前年度と比較すると職員の入退職は少なかったが、まだまだ経験年数の浅い職員が多いため、今後は新たに入った職員の定着と、利用者の意思決定支援を実現していくための支援力の底上げに注力していく。

また、今年度の報酬改定で国から示された通り、運営が閉鎖的になる恐れのあるグループホームについては、地域の関係者を含む外部の目を定期的に入れることが、事業運営の透明性を高め、一定の支援の質の確保にもつながるとの考えから「地域連携推進会議」の設置が義務付けられる等、グループホームを取り巻く環境の変化に柔軟に対応していく。

##### (1) 利用者状況

###### ① 性別・年代別

性別			年代別							
男	女	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	計
32人	6人	38人	0人	0人	6人	6人	18人	5人	3人	38人

###### ② 障害種別等

愛の手帳				障害支援区分					
2度	3度	4度	計	2	3	4	5	6	計
16人	15人	7人	38人	0人	5人	15人	14人	4人	38人

###### ③ 居住年数

居住年数					
1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	計
1人	0人	8人	17人	12人	38人

(2) 年間行事(外出プログラム)

実施日	施設	内 容	参加人数
11/23	沙羅の家	祝日イベント 防災訓練(火災想定避難訓練)	9名
11/23	沙羅の家向原	祝日イベント 防災訓練(非常時持ち出し袋チェック)	10名
11/23	沙羅の家大岡山	祝日イベント・防災訓練	6名
11/23	沙羅の家清水 A	祝日イベント 防災訓練(地震想定・災害時の食事体験)	8名
11/23	沙羅の家清水 B	祝日イベント 防災訓練(火災時の避難訓練)	8名
11/23	沙羅の家清水 C	祝日イベント 防災訓練(火災時の避難訓練)	7名
3/11	全ユニット	四中跡地合同防災訓練	6名
3/20	全ユニット	祝日合同外出イベント(後楽園飯店)	53名

(3) スタッフ会議

① 運営会議

	内 容
4月	理事長講和、2023年度重点課題について、年間予定について など
6月	東京都による集団指導について、虐待防止委員会より(対応フロー、倫理綱領)
8月	BCP作成の進捗状況、下半期のシフトについて、第三者評価について
10月	利用者状況、虐待防止委員会より(不適切対応について、虐待防止チェックリスト)
12月	開催中止(施設長インフルエンザの為)
2月	合同防災訓練について、イベント係より(3/20祝日イベント)、

② チーフ会議

	内 容
5月	係・PTについて、家族懇親会について、
7月	BCPの作成について、法人事業報告、決算報告について、
9月	全ユニットの夜勤化・週末オープンに向けて、事故・ヒヤリハットの確認
11月	BCP作成の進捗確認、しいの実祭りフォローについて
1月	BCPについて、新入居者について
3月	BCPの最終確認、年間のふりかえり

(4) 家族懇親会

日付	ユニット	参加者
5/23(火)	沙羅の家大岡山	ご家族:4名、職員:5名
5/24(水)	沙羅の家清水B	ご家族:4名、職員:4名
5/25(木)	沙羅の家向原	ご家族:4名、職員:5名
5/30(火)	沙羅の家清水A	ご家族:3名、職員:6名
5/31(水)	沙羅の家清水C	ご家族:3名、職員:4名
6/1(木)	沙羅の家(南)	ご家族:4名、職員:8名
11/1(水)	沙羅の家向原	ご家族:3名、職員:5名
11/6(月)	沙羅の家(南)	ご家族:3名、職員:6名
11/7(火)	沙羅の家清水B	ご家族:3名、職員:5名
11/8(水)	沙羅の家大岡山	ご家族:3名、職員:3名
11/9(木)	沙羅の家清水C	ご家族:2名、職員:5名
11/16(木)	沙羅の家清水A	ご家族:5名、職員:5名

5. 短期入所

2022年度に引き続き、利用人数・日数ともに大幅な増加となっている。2023年度は特に新規利用者が大きく増え、初回のみでの利用で終わらずに複数回利用している。また、地域生活支援拠点の役割機能の一つの「体験の機会・場」の提供として、グループホーム併設型である強みを活かし、グループホーム入居を見据えた多くの方に利用していただいていた。

(1) 利用実績

月	種別	利用人数			利用日数			利用率		
		2021	2022	2023	2021	2022	2023	2021	2022	2023
4月	体験	13	15	<b>16</b>	25	38	<b>42</b>			
	緊急	0	1	<b>1</b>	0	3	<b>4</b>			
	計	13	16	<b>17</b>	25	41	<b>46</b>	41.7%	68.3%	<b>76.7%</b>
5月	体験	8	13	<b>17</b>	20	31	<b>45</b>			
	緊急	0	4	<b>5</b>	0	11	<b>12</b>			
	計	8	17	<b>22</b>	20	42	<b>57</b>	32.3%	67.7%	<b>91.9%</b>
6月	体験	13	11	<b>18</b>	31	27	<b>45</b>			
	緊急	5	6	<b>2</b>	10	15	<b>19</b>			
	計	18	17	<b>20</b>	41	42	<b>64</b>	68.3%	70.0%	<b>106.7%</b>

7月	体験	10	14	<b>18</b>	24	36	<b>44</b>			
	緊急	1	10	<b>2</b>	2	25	<b>6</b>			
	計	11	24	<b>20</b>	26	61	<b>50</b>	41.9%	98.4%	<b>80.6%</b>
8月	体験	12	14	<b>25</b>	28	37	<b>62</b>			
	緊急	1	5	<b>0</b>	4	14	<b>0</b>			
	計	13	19	<b>25</b>	32	51	<b>62</b>	51.6%	82.3%	<b>100.0%</b>
9月	体験	12	14	<b>27</b>	30	36	<b>59</b>			
	緊急	1	4	<b>1</b>	2	9	<b>3</b>			
	計	13	18	<b>28</b>	32	45	<b>62</b>	53.3%	75.0%	<b>103.3%</b>
10月	体験	10	15	<b>21</b>	26	35	<b>53</b>			
	緊急	2	3	<b>2</b>	5	10	<b>7</b>			
	計	12	18	<b>23</b>	31	45	<b>60</b>	50.0%	72.6%	<b>96.8%</b>
11月	体験	9	15	<b>24</b>	22	40	<b>55</b>			
	緊急	2	4	<b>0</b>	5	8	<b>0</b>			
	計	11	19	<b>24</b>	27	48	<b>55</b>	45.0%	80.0%	<b>91.7%</b>
12月	体験	11	19	<b>28</b>	28	46	<b>66</b>			
	緊急	3	1	<b>0</b>	9	2	<b>0</b>			
	計	14	20	<b>28</b>	37	48	<b>66</b>	59.7%	77.4%	<b>106.5%</b>
1月	体験	7	15	<b>23</b>	19	39	<b>55</b>			
	緊急	2	4	<b>1</b>	4	10	<b>3</b>			
	計	9	19	<b>24</b>	23	49	<b>58</b>	37.1%	79.0%	<b>93.5%</b>
2月	体験	3	18	<b>26</b>	6	44	<b>61</b>			
	緊急	2	0	<b>1</b>	6	0	<b>2</b>			
	計	5	18	<b>27</b>	12	44	<b>63</b>	21.4%	78.6%	<b>112.5%</b>
3月	体験	14	21	<b>29</b>	33	52	<b>71</b>			
	緊急	3	1	<b>1</b>	7	3	<b>4</b>			
	計	17	22	<b>30</b>	40	55	<b>75</b>	64.5%	88.7%	<b>121.0%</b>
計	体験	122	184	<b>272</b>	292	461	<b>658</b>			
	緊急	22	43	<b>16</b>	54	110	<b>60</b>			
	計	144	227	<b>288</b>	346	571	<b>718</b>	47.4%	78.2%	<b>98.1%</b>

## (2) 利用者の障害種別

単位 人

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
知的	15	22	22	20	25	14	22	27	28	24	27	30	276
身体	1	1	1	1	2	2	2	0	2	1	1	2	16
精神	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	16	23	23	21	27	16	24	27	30	25	28	32	293

## (3) 緊急利用の理由

レスパイト	3件
冠婚葬祭	1件
介護者の通院・入院等	13件
家族との一時的分離	0件
その他	1件

6. 地域生活支援拠点(目黒区委託事業)

2022 年度に引き続き、相談支援事業所から「体験の機会・場」、「緊急時の受け入れ」先の備えとして沙羅の家短期入所の利用申し込みが増えている。また、その利用者の中から別法人のグループホームの入居につながるケースも生まれた。

コロナ禍でオンライン等に置き換えられ開催が控えられていた外部会議が対面方式で再開されるようになり、拠点としても積極的に参加し自立支援協議会や相談支援部会、基幹相談支援センター運営会議などだけではなく、相談支援事業所の関係者会議等にも参加し、関係機関との連携を図り地域の体制作りをおこなった。

(1) 相談・支援件数

単位 人

			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
2023	相談	実人数	50	45	59	44	72	54	47	49	45	42	52	54	613
		延人数	115	105	140	102	146	121	128	121	98	81	116	102	1375
	支援	実人数	23	13	21	18	23	22	14	19	17	14	22	32	238
		延人数	50	35	52	46	59	48	45	46	41	31	53	54	560
2022	相談	実人数	31	23	31	39	43	40	40	38	45	42	47	39	458
		延人数	72	72	61	75	122	78	78	92	90	100	86	104	1030
	支援	実人数	17	26	17	24	17	21	14	11	17	15	18	14	211
		延人数	29	51	37	42	47	29	29	35	38	41	35	42	455
2021	相談	実人数	33	21	29	26	24	29	38	19	22	35	38	29	343
		延人数	74	38	111	70	60	128	84	54	64	91	77	85	936
	支援	実人数	9	9	11	11	8	9	12	6	8	6	11	10	110
		延人数	26	19	51	34	32	73	31	29	24	26	35	34	414

(2) 相談者の障害種別

種別	身体	知的	精神	難病	児童	その他	重複	不明	合計
人数	7	526	14	0	0	4	7	2	560

※障害種別は本人・家族のみを対象としている。

(3) 主な相談内容

	主な内容	件数
1	日常生活	214
2	金銭管理	87
3	家族関係	111
4	人間関係	13
5	職場関係	138
6	近隣関係	2
7	緊急対応	27
8	短期入所	632
9	体調	83
10	福祉サービス	398
11	その他	336
	合計	2041

(4) 主な支援内容

	主な内容	件数
1	傾聴助言	404
2	相談継続	13
3	家庭訪問	1
4	紹介	2
5	緊急対応	3
6	安否確認	1
7	見守り	1
8	短期入所	16
9	付き添い	21
10	調整	351
11	その他	790
	合計	1603

(5) 研修

実施日	研修名	実施主体	参加数
8/31	虐待防止研修	目黒区基幹相談支援センター	3名
10/3～4	相談支援従事者基礎研修	東京都	1名
11/20	相談支援従事者基礎研修	東京都	1名
12/18	介護福祉と障害福祉の交流研修	目黒区基幹相談支援センター	2名
1/9～10	相談支援従事者基礎研修	東京都	1名
1/11	「統合失調症」について	保健センター	1名
2/5、7、20	東京都精神障害者地域移行促進事業地域移行関係職員に対する研修	東京都	1名
2/15	相談支援業務における記録の書き方	目黒区	1名
2/22	障がい者就労促進フェア	目黒障害者就労支援センター	2名
2/22	目黒区健康福祉部人材育成プログラム「飛躍研修」	目黒区	2名
2/26	防災講習会	目黒区	2名

(6) 見学

- ・5/18(木) 相談支援部会・地域生活支援拠点交流会の見学 5名
- ・5/19(金) 社会福祉士実習生の施設見学
- ・9/11(月) 社会福祉士実習生の施設見学
- ・10/16(月) 基幹相談支援センター新任職員による地域生活支援拠点見学

